

| | |
|--|-------|
| 第66回(令和3年1月6日) 新型コロナウイルス感染症対策 アドバイザリーボード | 参考資料4 |
| 西田先生提出資料 | |

都内主要繁華街における 滞留人口モニタリング

東京都医学総合研究所
社会健康医学研究センター

東京都内・主要繁華街 滞留人口モニタリング (1月3日までのデータ分析：要点)

【直近の人流の状況】

- 夜間滞留人口：都内主要繁華街のレジャー目的の夜間滞留人口（18-24時）は、クリスマスから12月28日（仕事納）にかけてさらに増加した後、例年通り、年末年始休暇に入って急激に減少（前週比 26.6% 減）。12月初旬から3週連続で新型コロナ流行下の最高水準付近を推移していたが、年末年始の急減によって（昨年）11月初旬の水準にまで下降。ハイリスクな深夜帯（22-24時）の滞留人口も直近1週間で急減（前週比：16.5 %減）。
- 昼間滞留人口：夜間滞留人口と同様に年末年始休暇に入って急激に減少（前週比：19.3% 減）。
- 夜間滞留人口・世代別占有率：依然中高年層の占める割合が高いものの、年末年始休暇に入り、繁華街で飲食する中高年層が急減したことによって若年層の割合が相対的に増加した可能性。

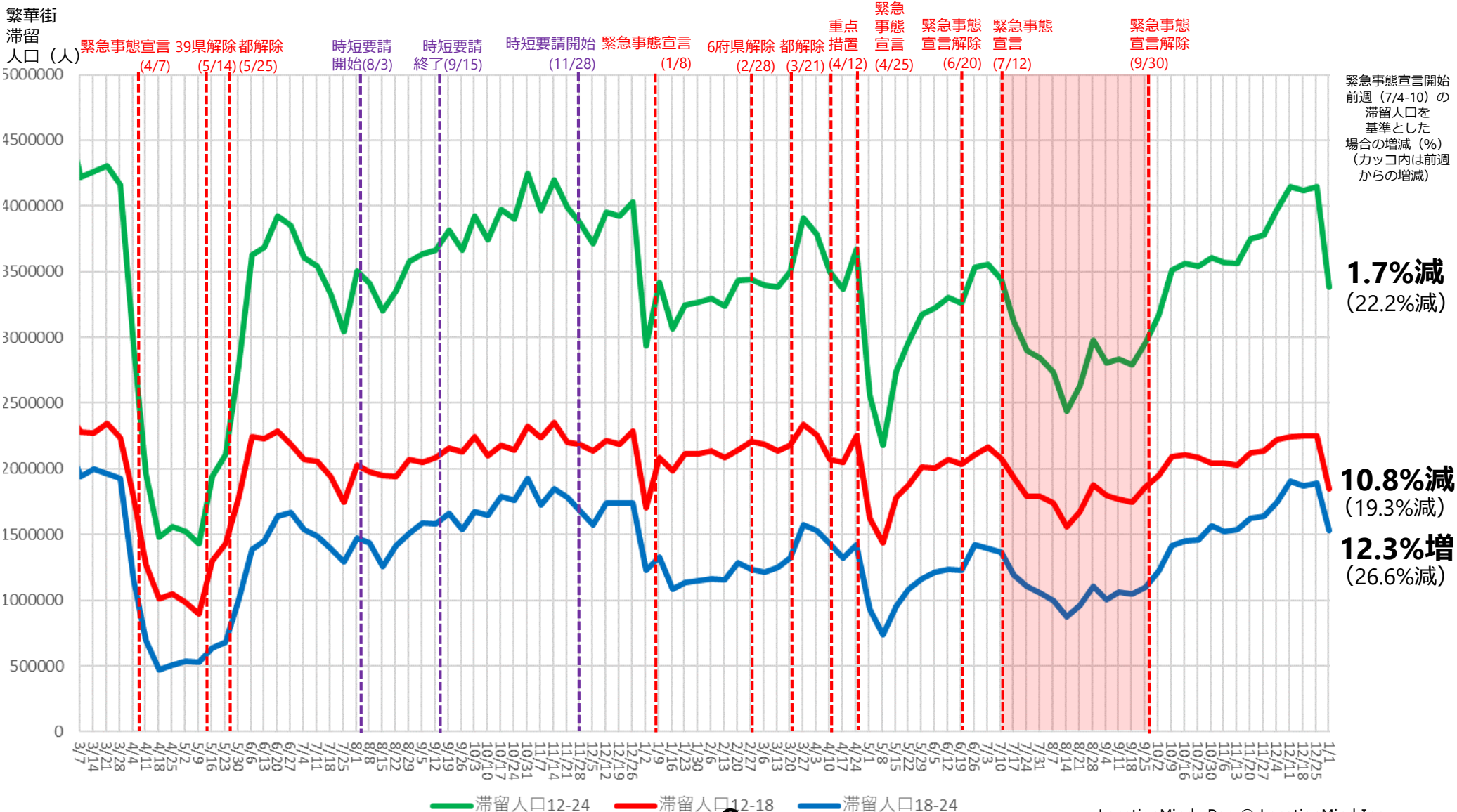
【ステイホーム指標】

- 居住地から5キロ圏内、3キロ圏内のステイホーム率は、59.9 %（前週比：8.4%増）、52.5 %（前週比：10.0%増）と年末年始休暇の影響で急上昇。ただし、昨年同時期のよりも5キロ圏内では6.2%、3キロ圏内では6.1%、それぞれ低い水準にとどまる。

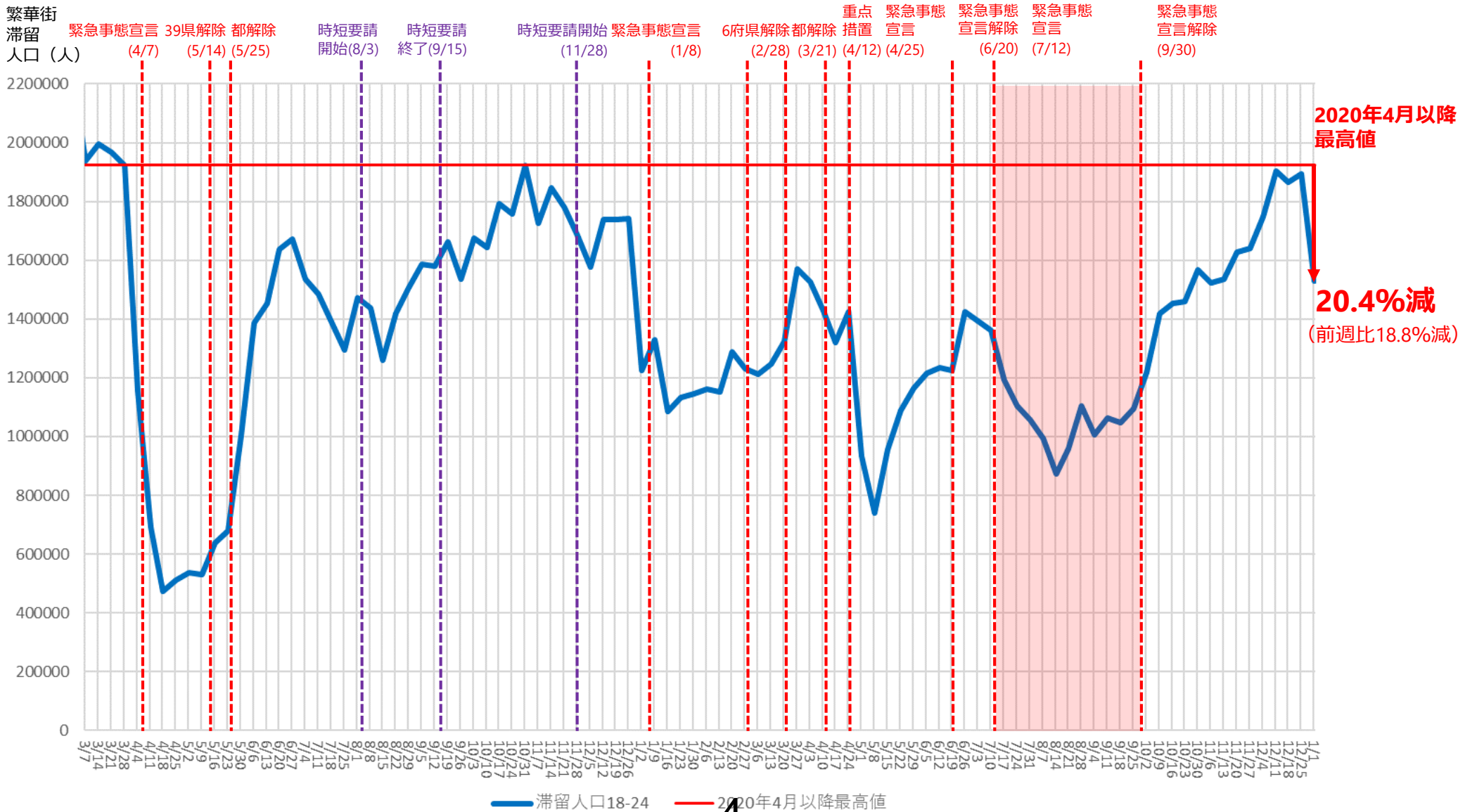
【大型ショッピングモール・フードコートの滞留人口】

- 北多摩以外の都心部・23区東部・23区西部・南多摩・西多摩で減少傾向。

時間帯別主要繁華街滞留人口の推移 (2020年3月1日～2022年1月1日)



前回宣言期間中の夜間滞留人口（18-24時）平均水準との比較 （2020年3月1日～2022年1月1日）



都内主要繁華街における夜間滞留人口の年代別占有率（2021年6月1日～2022年1月1日）

18時～20時

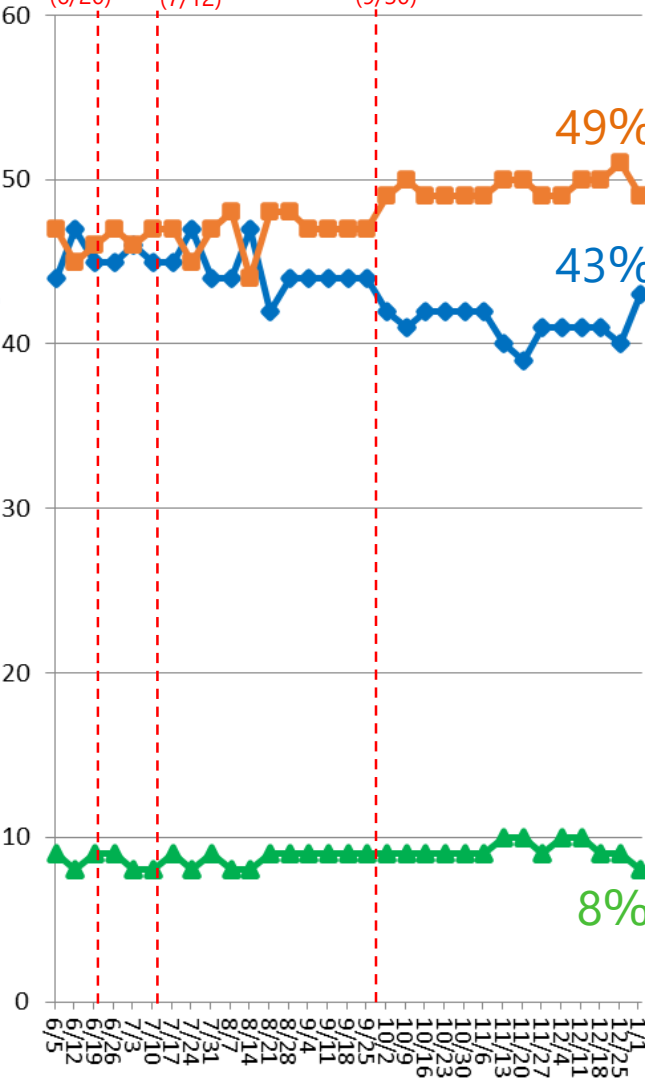
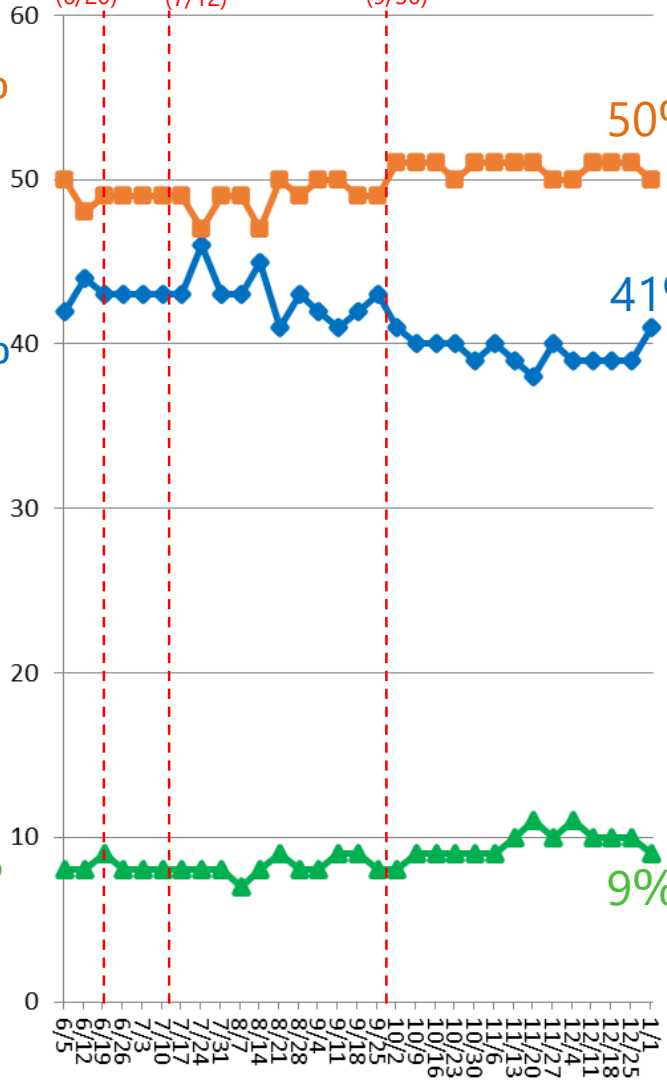
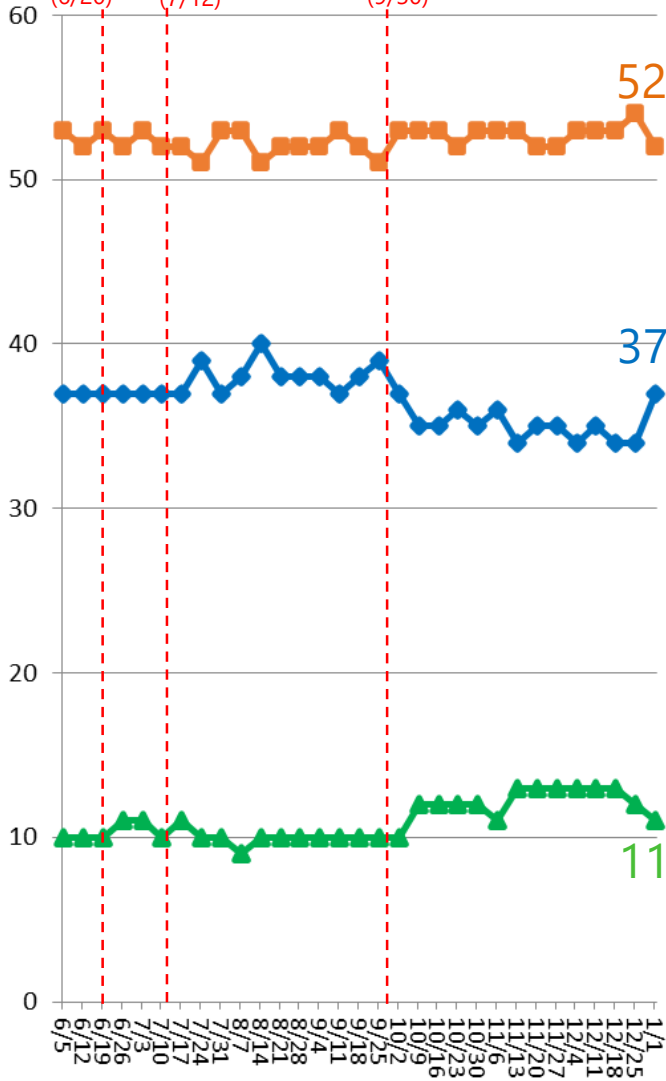
20～22時

22～24時

宣言解除 (6/20) 緊急事態宣言 (7/12) 宣言解除 (9/30)

宣言解除 (6/20) 緊急事態宣言 (7/12) 宣言解除 (9/30)

宣言解除 (6/20) 緊急事態宣言 (7/12) 宣言解除 (9/30)



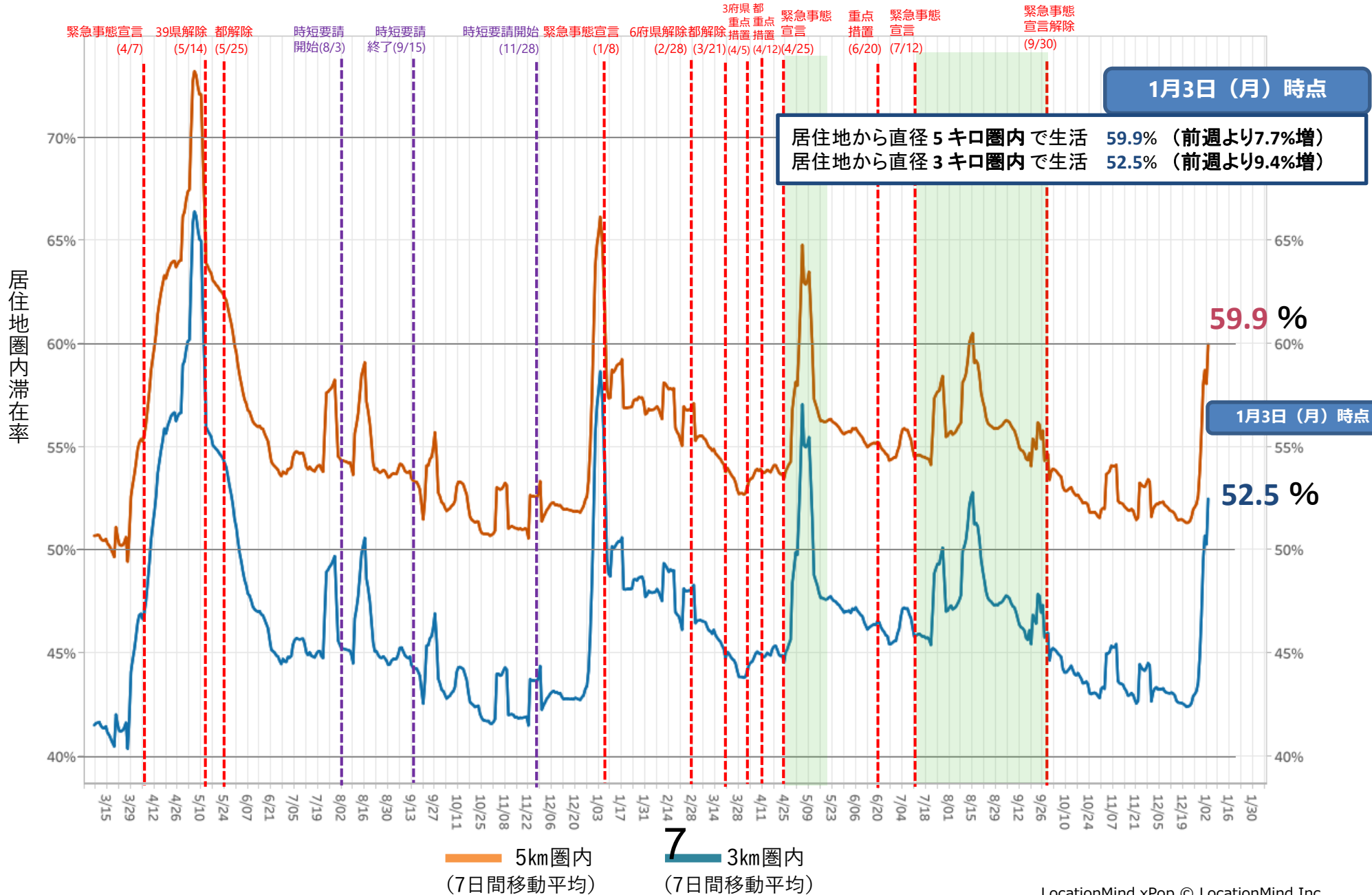
年齢別夜間滞留人口推移 (22-24時・7日間移動平均：2021年3月7日～2022年1月2日)

対象繁華街：上野・銀座・六本木・渋谷
新宿二丁目・歌舞伎町・池袋

繁華街
夜間滞留
人口 (人)

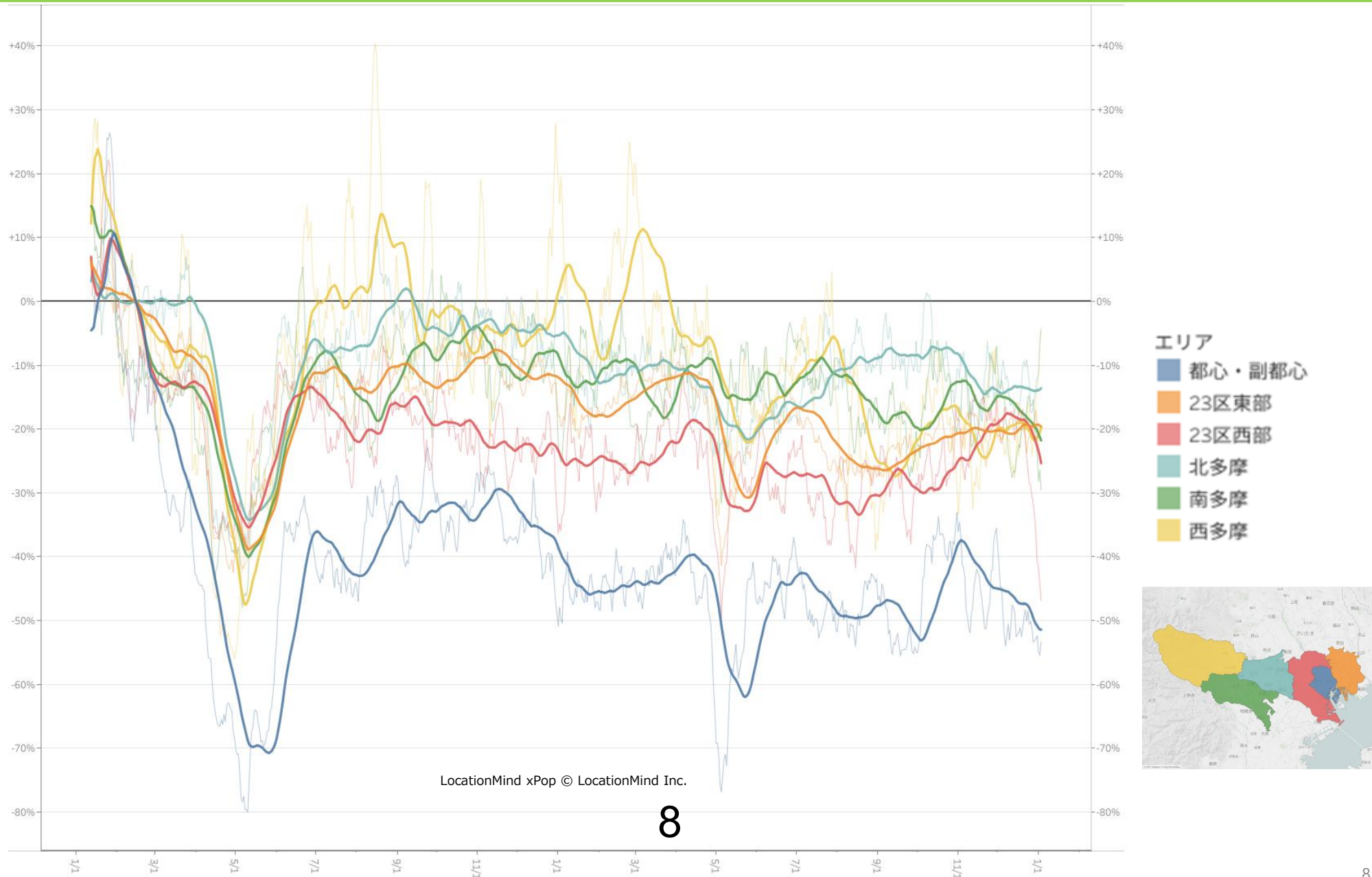


ステイホーム指標 (2020年3月1日~2021年1月3日) : 東京都内全域



都内大型ショッピングセンター内のフードコート滞留人口推移

地域別：2020.1.12-2022.1.3：10-19時（モニタリング対象28施設）



ハイリスクな時間帯の繁華街滞留人口を正確にとらえる

- GPSの移動パターンから**主要繁華街に遊興目的で**

移動・滞留したデータを抽出 ※

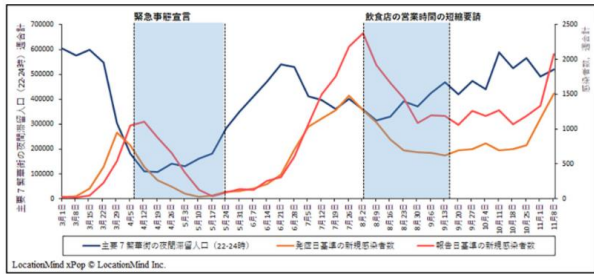
- ハイリスクな時間帯の滞留人口量を**

1時間単位で推定(500mメッシュ単位)

- LocationMind ⇒ 都医学研**

- 夜間滞留人口データとその後の**

新規感染者数、実効再生産数との関連が報告されている ※※



※GPS移動パターンから職場と自宅の場所を推定した後、職場・自宅以外の15分以上の滞留をレジャー目的としてカウント

LocationMind xPopのデータは、NTTドコモが提供するアプリケーションサービス「ドコモ地図ナビ」のオートGPS機能利用者より、許諾を得た上で送信される携帯電話の位置情報を、NTTドコモが総体的かつ統計的に加工を行ったデータを使用。位置情報は最短5分ごとに測位されるGPSデータ(緯度経度情報)であり、個人を特定する情報は含まれない。

※※ Nakanishi M, Shibasaki R, Yamasaki S, Miyazawa S, Usami S, Nishiura H, Nishida A. On-site Dining in Tokyo During the COVID-19 Pandemic: Time Series Analysis Using Mobile Phone Location Data. *JMIR mHealth and uHealth*, 2021